



インスピレーションになるう

RI 会長 バリー・ラシン

会 長 山田 一郎 ・ 幹 事 村角 伸一 ・ クラブ会報・雑誌委員長 郡山 佳也

事務局 姫路市下寺町 43 姫路商工会議所 新館 3F 〒670-0932  
TEL 079-288-6416 FAX 079-222-8256  
E-mail info@himeji-east-rc.com ホームページ <http://www.himeji-east-rc.com>

例会日 毎週月曜日 18:00～19:00 例会場 姫路商工会議所 7F 702 号室 TEL 079-222-6001

クラブ・モットー 「Do For Others!」 ≪他者への貢献≫

No.15 第2075回例会 (2018. 11. 19)

開会点鐘 (18:00)  
季節の歌「旅愁」斉唱  
来客紹介  
歓迎歌  
出席報告  
食 事  
会長の時間  
幹事報告  
委員会報告  
ニコニコ箱報告

プログラム

社会奉仕フォーラム  
「姫路東 RC の  
社会奉仕活動の振り返りと今後」

小倉 克輝社会奉仕委員

閉会点鐘 (19:00)

■ 予定プログラム

- 当 ク ラ ブ (11/26) 「演題未定」 姫路科学館 館長 高橋 康範氏
- 〃 (12/ 3) 「歴史からひもとく職業奉仕」 地区職業奉仕委員長 吉岡 博忠氏 (伊丹 RC)
- 〃 (12/10) 「新入会員スピーチ」 糺川 英毅会員 高原 敏緒会員
- 姫 路 R C (11/20) 休会 (定款第 8 条第 1 節 (c)・第 47 回ロータリー研究会)
- 姫 路 南 R C (11/26) 「移動例会」 11:50～14:30 於：パナソニックミュージアム
- 姫 路 西 R C (11/21) 「ロータリー財団フォーラム」 ロータリー財団委員会 細野 友克委員長
- 神 崎 R C (11/22) 国際奉仕委員会：上山 洋一郎委員長
- 姫路中央RC (11/22) 卓話「演題未定」 田路 和男氏 (姫路南 RC)

## ■ 第2074回(11月12日)例会 記録

### ■ 出席報告 (報告：高原 敏緒 会員)



11月12日

会員数	出席免除者数	例会出席者数	例会欠席者数	ホームクラブ出席率
68名	9名	44名	18名	70.97%

10月29日例会 (確定補正分)

会員数	出席免除者数	例会出席者数	例会欠席者数	メイクアップ数	確定補正出席率
68名	9名	47名	14名	14名	100.00%

### ■ 来客報告 (和田 正 副会長)

国際ロータリー第2680地区

ロータリー財団副委員長/資金推進小委員長 本條 昇氏 (龍野 RC)



来訪ロータリアン	1名
累計	47名

### ■ 会長の時間

会長の時間を頂きます。

今月はロータリー財団月間でございます。本日は地区からロータリー財団副委員長本條昇様に来ていただきました。有難うございます。

本條様からの DO FOR OTHERS !! です。よろしくお願いします。

元々の生業である木の話をしてします。外国産マッチ軸木の原木はすべてアスペン材といってポプラ科の樹でポプラより葉が少し小さい木です。北京空港から降りて北京市内方面へ行く道中にたくさん植えられています。日本ではサワクルミという樹を使っていました。この樹は山の中のきれいな水が流れる川の近所に生えています。

弊社が青森に工場を作った時代は昭和36年ごろですが当時は非常にたくさんありましたが、生産を辞める平成9年にはサワクルミの樹は山奥にしか無い状態でした。世間で森林伐採がよく勘違いされるのが、切り株から木が大きくなるという概念がないことです。森林伐採イコール環境破壊と一概に決め



つける態があります。30年で切り株から成木になりますので昭和36年頃に伐採し始めた木は55年経った今切株から立派な成木になっています。その理屈で行きますともう一度工場を建てても十分に生産出来るだけの良質な原材料があります。しかしマッチ軸を生産しても今は使う人が少なくて採算がとれません。

木材の用途は1番が建築・土木材で木材全体の約43%です。2番は紙パルプ用で約42%、3・4番に家具・建具材約5%、梱包・木箱、約5%。そして、その他の木製品が5%です。

建築・土木材は木造住宅や社寺のように建造物として残るものは沢山ありますが。鉄筋コンクリートのビルは型枠にコンクリートを流し込むので大量の合板の使い捨てで建造物の大きさ分のコンパネが使い捨てられます。また、紙パルプ材の42%ですが、コピー用紙から段ボール、ティッシュペーパー、トイレットペーパー、紙おむつまで全て紙パルプです。

木の形が解らないところで沢山の木材を使用しています。目に見えて使い捨てる割箸、マッチ軸、キャンデー棒を合わせても木材使用比率は僅か1~2%に過ぎません。

話は戻りますが、戦後の日本の森林政策は広葉樹を伐採してそこへ針葉樹を植林していきました。その結果、日本の山は全部杉や桧に覆われ青い山になってしまいました。本来の日本の山は秋になれば赤や黄色の紅葉と針葉樹の緑色の入り混じった風景でした。広葉樹は秋が深まるとともに落葉し、ドングリや木の実を落とします。動物たちはドングリや木の実や種をたくさん食べて冬眠します。冬には雪が積もります。春に解け始め、日が地面に差し込みます。地面には葉が堆積しています。堆積した葉に虫やミミズが生息します。それを鳥が食べに来ます。鳥はフンを落として腐葉土になります。それが栄養となり、地下水や、沢にミネラルが流れていきます。山の循環が出来ると山に自然の食物が取れるようになるため動物が人里まで危険を冒してくるようなことはありません。また、手入れされた山から流れる水は海へと流れていきミネラルたっぷりの海水のおかげで魚が増えます。

前川さんの昆布もこの理屈でおいしくなると思います。最近はこの様な環境を目指して漁業の従事者が山へ入って適切に伐採していく活動をされている地域も少しずつ増えてきているようです。

が、残念なことに以前から植えられた杉、桧に対して林業の衰退で山が破壊されています。

実は皆様お困りの花粉症も日本の林業政策の影響かもしれません。

ご清聴ありがとうございました。

## ■ 幹事報告 (村角 伸一 幹事)

前回の東西 RC 合同例会では月初めのお祝いができませんでしたので、遅ればせながらお祝いをさせていただきます。

1. 11月のお誕生日の方はおられません。
2. 11月の結婚記念日のお祝いを申し上げます。お名前をお呼びいたしますのでその場でお立ち下さい。

増田会員(1日)、河本会員(2日)、樋口会員(6日)、藤井会員(6日)、岡本会員(11日)、福永会員(19日)、橋本会員(22日)、山田一郎会長(23日)、前川会員(23日)、大出会員(27日)おめでとうございます。皆様、祝福の拍手をお願いいたします。



3. 去る 11 月 10 日（土）、姫路科学館におきまして「第 54 回 姫路市児童生徒科学作品展」調査研究の部の表彰式が開催され、山田会長と宗接青少年奉仕委員長が出席され、メダルの贈呈を行われました。

同日開催されました「第 4 回多様化推進小委員会」には当クラブより橋本地区多様化推進小委員が出席されました。

11 日(日)の「青少年交換長期来日生・長期派遣候補生オリエンテーション」には、白井地区青少年交換小委員長、小倉地区青少年交換小委員、山根青少年交換委員長、長期派遣候補生のカウンセラー郡山会員が出席されました。

4. 地区より「第 11 回全国 RYLA 研究会のご案内」がまいっております。日時は 2019 年 2 月 3 日(日)10:00～16:50、会場は神戸商工会議所神商ホール アリントンホテル神戸です。ご興味のおありの方は事務局までお願いいたします。



## ■ 委員会報告

### ◆親睦活動委員会／歩こう会（報告：小倉 克輝 副委員長）

先日の東西 RC 親睦ゴルフコンペにはたくさんのご参加をありがとうございました。成績は本日の週報 No.14 の p.11 に掲載しております通りです。優勝は樋口会員です。優勝杯を会長よりお渡しいたします。



また、来たる 11 月 25 日(日)に「第 7 回歩こう会」を開催いたします。詳細は本日の週報 No.14 の最後のページに掲載しておりますのでたくさんのご参加をお待ちしております。

### ◆ロータリー財団委員会（報告：埴岡 雅則 委員長）

11 月はロータリー財団月間です。矢野ガバナーの寄付目標はお一人\$160 ですが、これまで当クラブはお一人\$100 としてきた経緯もありますので、会長幹事と相談の結果「お一人\$125（14,000 円）から」とすることにいたしました。皆様のご協力、よろしくお願いたします。



## ■ ニコニコ箱報告（富田 正雄 副 S.A.A）

本條地区ロータリー財団副委員長より「本日は貴重な卓話の機会を頂きまして、誠にありがとうございます。」ということでニコニコを頂戴しました。また、例会終了後謝礼をニコニコへ頂きました。

山田会長……………本條様本日は有難うございます。ロータリー財団卓話宜しく  
 お願いします。[同趣旨で]和田副会長、村角幹事、有末会員、  
 猪子会員、上野会員、梅岡会員、大出会員、大西健会員、  
 岡崎会員、岸元会員、久内会員、清瀬会員、高馬会員、  
 郡山会員、白井会員、糺川会員、高原会員、常村会員、  
 壺阪会員、富田会員、中村会員、名田会員、原会員、前川会員、  
 増田会員、松浦会員、松尾会員、水本会員、村越会員、藪口会員、柚木会員



埴岡ロータリー財団委員長…本條副委員長本日はよろしく申し上げます。

福永会員……………久振りで例会出席出来る様になりました。猪子さん、お世話になりました。

幾野会員……………福永さん久しぶりです。お元気そうでよかった、ヨカッタ。

樋口会員……………東西親睦ゴルフコンペで運よく優勝しました。

久内会員……………東西ゴルフコンペで 148 のスコアでゴルフバッグをいただきました。うれしいやら  
 恥ずかしいやらです。

小倉会員……………ゴルフコンペのご参加ありがとうございました。

増田会員……………明日、15 年程前に我が家にホームステイしていた、タイのサマコセス・タイフーン  
 がお母さんと共に姫路に来ます。当時 17 才の彼女も今は 33~34 才になっていると  
 思います。会うのが楽しみです。

山田会長……………結婚自祝。[同趣旨で]増田会員

岡本会員……………昨日、結婚記念日でした！今日はケーキを買って帰ります。

前田会員……………お久しぶりです。

ニコニコ箱	計	93,000 円
	累計	1,235,160 円

## ■ プログラム

「歴史秘話ヒストリア

一人のロータリアンの小さなひらめきから」

国際ロータリー第 2680 地区

ロータリー財団副委員長/資金推進小委員長

本條 昇氏 (龍野 RC)



### 1.財団の理念と目標

ロータリー財団の創始者、アーチ・クランプは、The Rotarian の 1929 年 4 月号にこう書いています。

「ロータリー財団は、煉瓦や石の記念碑を建てるものではない。たとえ大理石に碑銘を刻んだとしても、やがては崩れてしまう。真鍮を使ったとしても、いつかは汚れてしまう。だが、人々の心の中に碑銘を刻むなら、我々が刻んだものは永遠に輝き続けるであろう。」

人づくりによって地域と世界をより良く変えていく。それが財団の理念であり、その中心にあるのはロータリーの奉仕の心です。

---

その目標はポール・ハリスの悲願であった「善意による戦争予防」であり、全ては世界理解と平和のためです。

我々が享受している平和は先人の叡智と努力の結晶であり、我々もまた今の平和を次の世代へ引き継ぐ責任があります。我々にとって財団は、最も簡便にして有効な平和貢献のチャンスと言えます。

## 2.財団の位置づけ

財団の正式名は「**国際ロータリーのロータリー財団**」です。財団はその名の通り、組織制度上、明確に RI のガバナンスの下にあります。

財団の位置づけは、ロータリアンの奉仕活動を支える公正なる金庫番と言えます。

## 3.財団の活動と客観評価

財団の活動は、寄付で得た「お金」を「価値」に変えることです。財団が事業を行うのではありません。実際に「価値」を生み出すのは、財団プログラムの下で奉仕活動に汗をかいているロータリアンの献身です。

財団は、慈善団体の格付機関チャリティ・ナビゲーターから、10年連続で「四つ星」の最高評価を達成しています。財務健全性、資金効率、運営透明性といった基準で、全米トップ1%という極めて高い評価を得ています。

また米国のテレビ局 CNBC は、2016年、財団を「世界を変えている慈善団体」の第3位に選出しました。

ロータリー財団は、世界でもトップクラスの財団として認められています。

## 4.クラフが描いた「未来の夢」

かつてアーチ・クラフがロータリーと出会って、「世界でよいことをしよう」という小さなひらめきを得ました。それから100年、財団は彼が思い描いていたような平和のための基金に発展し、奉仕の第二世紀を迎えました。

クラフの物語は、彼一人のものではありません。これまで財団に関わった全てのロータリアン、財団プログラムの恩恵を受けた全ての人々が物語の主人公です。

物語はこれからも続きます。まさしく、彼が見通した通り、“Rotary is a movement for the centuries.”です。

こうして見ると、我々が「未来の夢計画」と名付けたその「未来の夢」とは、クラフの「未来の夢」そのものではないかと思えます。彼が100年も前に、未来のロータリアンのために種をまいたように、今度は我々が種をまく番です。

